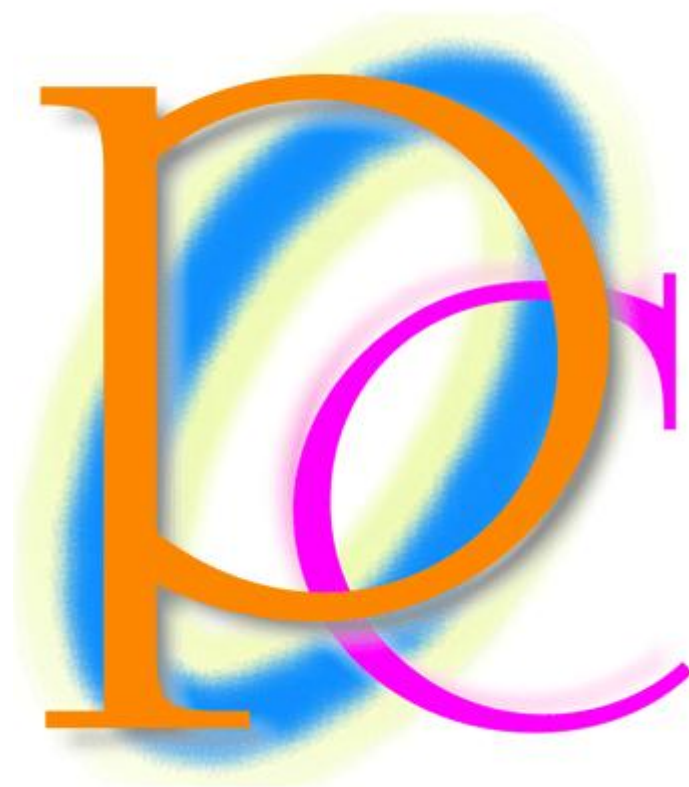


(Windows 7 Version)

Excel 2010-03-中級関数



体系学習★初歩からのPCテキスト

第1章: べき乗(べきじょう).....	6
§1-1… 準備.....	6
§1-2… べき乗(べきじょう)の使用.....	7
§1-3… 練習問題.....	7
第2章: 範囲名の利用.....	10
§2-1… 名前の定義.....	10
§2-2… [名前ボックス]を使って範囲名・名前の定義.....	11
§2-3… 範囲名を使った計算式の作成 1.....	12
§2-4… 範囲名を使った計算式の作成 2.....	13
§2-5… 範囲名の編集.....	15
§2-6… 範囲名と絶対参照/選択範囲から作成.....	18
§2-7… 名前の引用.....	20
§2-8… 範囲名と絶対参照の研究.....	21
§2-9… 練習問題.....	22
第3章: 切り捨て・切り上げ・四捨五入.....	23
§3-1… 準備.....	23
§3-2… ROUNDDOWN 関数とは(概要・らうんど だうん).....	23
§3-3… ROUNDDOWN の操作.....	24
§3-4… 桁数にプラスの値(正の数)を指定する.....	25
§3-5… 桁数にマイナスの値(負の数)を指定する.....	26
§3-6… その他の桁数.....	26
§3-7… その他の処理方法.....	27
§3-8… ROUNDUP 関数と ROUND 関数(資料).....	29
§3-9… 練習問題.....	30
第4章: 論理式.....	33
§4-1… 準備.....	33
§4-2… 論理式とは・TRUE と FALSE.....	33
§4-3… 基本的な論理式.....	33
§4-4… 再計算.....	34
§4-5… 比較演算子.....	35
§4-6… 右辺を文字にする.....	36
§4-7… 「以外」を作成する.....	36
§4-8… NOT 関数.....	37
§4-9… 空欄の際に TRUE とする.....	38
§4-10… 練習問題.....	38
第5章: 関数のネスト.....	41
§5-1… 準備.....	41
§5-2… 関数のネスト.....	42
§5-3… もう一度関数のネストをやる.....	46
§5-4… 練習問題.....	49
第6章: 複数の論理式-AND 関数・OR 関数.....	51

§ 6-1… 準備.....	51
§ 6-2… AND 関数とは(概要).....	52
§ 6-3… AND 関数の使用.....	52
§ 6-4… OR 関数とは(概要).....	56
§ 6-5… OR 関数の利用.....	57
§ 6-6… 練習問題.....	58
第 7 章: IF 関数 1.....	61
§ 7-1… 準備.....	61
§ 7-2… IF 関数とは(概要・いふ).....	62
§ 7-3… IF 関数の効果.....	63
§ 7-4… セルの指定と空白の指定.....	65
§ 7-5… 数式の指定.....	66
§ 7-6… 文字データの評価.....	67
§ 7-7… 空白の検索.....	69
§ 7-8… 練習問題.....	70
第 8 章: アンパサンド[&].....	74
§ 8-1… 準備.....	74
§ 8-2… &[アンパサンド]の使用.....	74
§ 8-3… セルと文字データそのものを連結する.....	74
§ 8-4… 空白を付ける.....	75
§ 8-5… 練習問題.....	76
第 9 章: IF 関数 2.....	77
§ 9-1… 準備.....	77
§ 9-2… 3つの場合分け.....	77
§ 9-3… 4つ以上の場合分け.....	81
§ 9-4… 3つ以上の場合分け(まとめ).....	84
§ 9-5… AND 関数を論理式に採用する.....	84
§ 9-6… OR 関数を論理式に採用する.....	87
§ 9-7… 練習問題.....	89
第 10 章: VLOOKUP[近似値検索].....	93
§ 10-1… 準備と概要.....	93
§ 10-2… VLOOKUP 関数とは(概要・ふい るつくあつぷ).....	94
§ 10-3… VLOOKUP 関数で使用する対応表の作成.....	95
§ 10-4… VLOOKUP 関数の使用.....	95
§ 10-5… 作成の復習.....	98
§ 10-6… 練習問題.....	99
第 11 章: VLOOKUP 関数[完全一致検索].....	103
§ 11-1… 準備.....	103
§ 11-2… 従来どおりの VLOOKUP 関数.....	103
§ 11-3… 近似値のテスト.....	104
§ 11-4… 完全一致検索の VLOOKUP 関数とは(概要).....	107

§ 11-5… 完全一致検索を採用する	108
§ 11-6… 完全一致検索の効果	110
§ 11-7… 完全一致検索の VLOOKUP 関数を作成.....	110
§ 11-8… 完全一致検索の特徴/対応表のキー列(最左列)は文字でもよい	112
§ 11-9… 練習問題	113
第 12 章: COUNTIF・SUMIF	116
§ 12-1… 準備	116
§ 12-2… COUNTIF 関数とは(概要・かうんと いふ).....	117
§ 12-3… COUNTIF 関数の利用.....	117
§ 12-4… SUMIF 関数とは(概要・さむ いふ).....	120
§ 12-5… SUMIF 関数.....	120
§ 12-6… AVERAGEIF 関数	123
§ 12-7… 練習問題	124
第 13 章: HLOOKUP 関数とエラーの回避(IFERROR)	128
§ 13-1… HLOOKUP 関数(対応表が右に展開・えいち るっくあつぷ).....	128
§ 13-2… エラーの確認	130
§ 13-3… IFERROR 関数とは(概要・いふえらー)	131
§ 13-4… IFERROR 関数でエラーの回避.....	131
§ 13-5… 練習問題	133

…  →操作説明

…  →補足説明

- 記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。
- 本書の例題や画面などに登場する企業名や製品名、人名、キャラクター、その他のデータは架空のものです。現実の個人名や企業、製品、イベントを表すものではありません。
- 本文中には™,®マークは明記しておりません。
- 本書は著作権法上の保護を受けております。
- 本書の一部あるいは、全部について、合資会社アルファから文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複製、複製することを禁じます。ただし、合資会社アルファから文書による許諾を得た期間は除きます。
- 無断複製、転載は損害賠償、著作権法の罰則の対象になることがあります。
- この教材はMicrosoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
 - ◆ Version No : Excel2010-03-中級関数-120607
 - ◆ 著作・製作 合資会社アルファ
〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 118-2 中山 NS ビル 6F
 - ◆ 発行人 三橋信彦
 - ◆ 定価 ¥5,040 円

第1章:べき乗(べきじょう)

§ 1-1…準備

(1) 以下のような表を作成しましょう。

	A	B	C	D
1				
2		半径	8	
3		円周率	3.14	
4		面積1		
5		面積2		
6		体積1		
7		体積2		
8				

(2) 円の面積は「 πr^2 」「円周率×半径²」「円周率×半径×半径」で計算します。セル C4 に「`=C3*C2*C2`」を作成して下さい。

	A	B	C	D
1				
2		半径	8	
3		円周率	3.14	
4		面積1	=C3*C2*C2	
5		面積2		
6		体積1		
7		体積2		
8				

(3) 面積が算出されました。

	A	B	C	D
1				
2		半径	8	
3		円周率	3.14	
4		面積1	200.96	
5		面積2		
6		体積1		
7		体積2		
8				

(4) 球の体積は「 $\frac{4}{3}\pi r^3$ 」「 $4\div 3\times$ 円周率×半径³」「 $4\div 3\times$ 円周率×半径×半径×半径」です。C6に「`=4/3*C3*C2*C2*C2`」を作成して下さい。

	A	B	C	D
1				
2		半径	8	
3		円周率	3.14	
4		面積1	200.96	
5		面積2		
6		体積1	=4/3*C3*C2*C2*C2	
7		体積2		
8				

(5) 球の体積が表示されました。

	A	B	C	D
1				
2		半径	8	
3		円周率	3.14	
4		面積1	200.96	
5		面積2		
6		体積1	2143.573	
7		体積2		
8				

§ 1-2…べき乗(べきじょう)の使用

- (1) 「C2 を 2 回掛ける」作業は、「C2*C2」でも実現しますが、「C2^2」も同じ意味で扱われます。セル名のうしろに半角の「^」を使い、さらにうしろに数字を続けると、セルの値を、指定した回数だけ掛けてくれるのです。「^」は「ハットマーク」と呼びます。C5 に「=C3*C2^2」を作成して下さい。

C5 に「=C3*C2^2」を作成

半角の「^」を「ハットマーク」と読みます

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1														
2		半径	8											
3		円周率	3.14											
4		面積1	200.96											
5		面積2	=C3*C2^2											
6		体積1	2143.573											
7		体積2												
8														
9														

- (2) 面積が算出されました。

「C2^2」は「C2²」の意味

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1														
2		半径	8											
3		円周率	3.14											
4		面積1	200.96											
5		面積2	200.96											
6		体積1	2143.573											
7		体積2												
8														
9														

- (3) 「C2^3」は「C2³」「C2*C2*C2」と同じ意味になります。
C7 に「=4/3*C3*C2^3」を作成して下さい。

C7 に「=4/3*C3*C2^3」を作成

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		半径	8										
3		円周率	3.14										
4		面積1	200.96										
5		面積2	2143.573										
6		体積1	200.96										
7		体積2	=4/3*C3*C2^3										
8													

- (4) ハットマーク(^)を使っても、体積の算出ができました。完成後はこのファイルを閉じましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		半径	8										
3		円周率	3.14										
4		面積1	200.96										
5		面積2	2143.573										
6		体積1	200.96										
7		体積2	2143.573										
8													

§ 1-3…練習問題

- (1) 立方体の体積を求めて下さい。辺の長さを 3 乗します。


	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2			立方体1	立方体2	立方体3	立方体4	立方体5	
3		辺の長さ	27	9	21	4	17	
4		体積	19,683	729	9,261	64	4,913	
5								

(2) 試験管の中で、ある菌を 15 日間培養します。この菌は 1 日で 1.12 倍(12%増)になります。現在は試験管の中に 6000 個の菌がいます。経過日数と菌の数との関係を表にしましょう。

	A	B	C	D	E
1					
2			初期菌数	6000	
3			増加率	1.12	
4					
5		日数	1	6,720	
6			2	7,526	
7			3	8,430	
8			4	9,441	
9			5	10,574	
10			6	11,843	
11			7	13,264	
12			8	14,856	
13			9	16,638	
14			10	18,635	
15			11	20,871	
16			12	23,376	
17			13	26,181	
18			14	29,323	
19			15	32,841	
20					

(3) 預金額・年利に応じた預け入れ後の受取額を計算する、左のような表を作成しましょう。複利計算をしています。利子に対しても利子が付くのです。終わったら右のように年利を「1.30%」に修正してみましょう。

	A	B	C	D
1				
2		預金額	¥30,000	
3		年利	1.10%	
4		年間増加率	101.10%	
5		預金年数	8	
6		預入後の増加率	109.15%	
7		受取額	¥32,744	
8				



	A	B	C	D
1				
2		預金額	¥30,000	
3		年利	1.30%	
4		年間増加率	101.30%	
5		預金年数	8	
6		預入後の増加率	110.89%	
7		受取額	¥33,266	
8				

(4) ある薬品がビーカーの中に 2500ml あります。この薬品は 1 時間に 2.5% ずつ蒸発します。各時間と残りの薬品量を表にしましょう。2 時間後には「 $2500 \times (100\% - 2.50\%)^2$ 」の量が残ります[$2500 \times 97.5\% \times 97.5\%$]。20 時間後には「 $2500 \times (100\% - 2.50\%)^{20}$ 」の量が残ります[$2500 \times (97.5\%)^{20}$]。

	A	B	C	D
1				
2	蒸発率		2.50%	
3				
4	経過時間		薬品量	
5	0		2,500	
6	1		2,438	
7	2		2,377	
8	4		2,259	
9	8		2,042	
10	12		1,845	
11	16		1,667	
12	20		1,507	
13	24		1,362	
14	28		1,230	
15	32		1,112	
16	36		1,005	
17	40		908	
18	44		821	
19	48		742	
20	52		670	
21	56		606	
22	60		547	
23				

第2章:範囲名の利用

§ 2-1…名前の定義

(1) 以下のような表を作成して下さい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100			工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700			山下	¥2,600			村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800		
6						高野	¥900			熊沢	¥2,500		
7						江沢	¥3,400						
8						北岡	¥2,900						
9													
10		東京計											
11		大阪計											
12		福岡計											
13													
14		総平均											
15		総合計											
16													

(2) セル C3:C5 の数値群に「東京」という名前を設定します。選択してから【数式】[名前の定義]を使うと範囲に特別な名前を付けて登録しておくことができます。

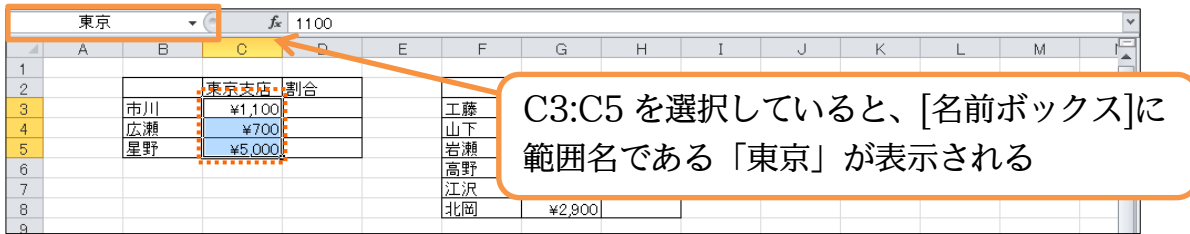
2. 【数式】[名前の定義]

1. C3:C5 を選択

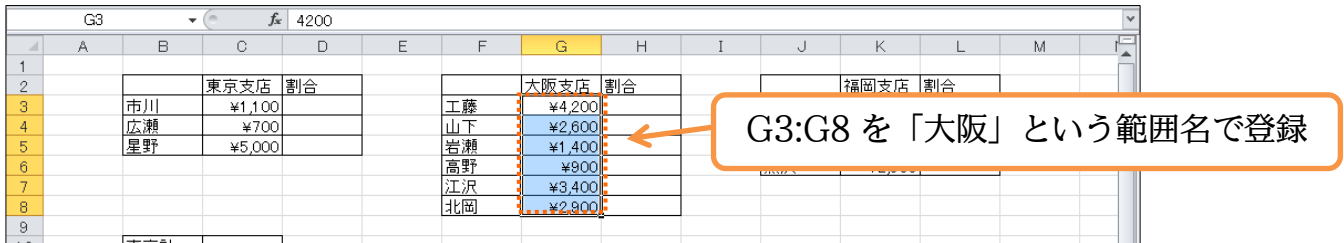
(3) 「C3:C5」を「東京」という名前で登録・OK しましょう。

「C3:C5」を「東京」で登録

(4) C3:C5 を選択していれば、画面左上の[名前ボックス]に「東京」と表示されます。

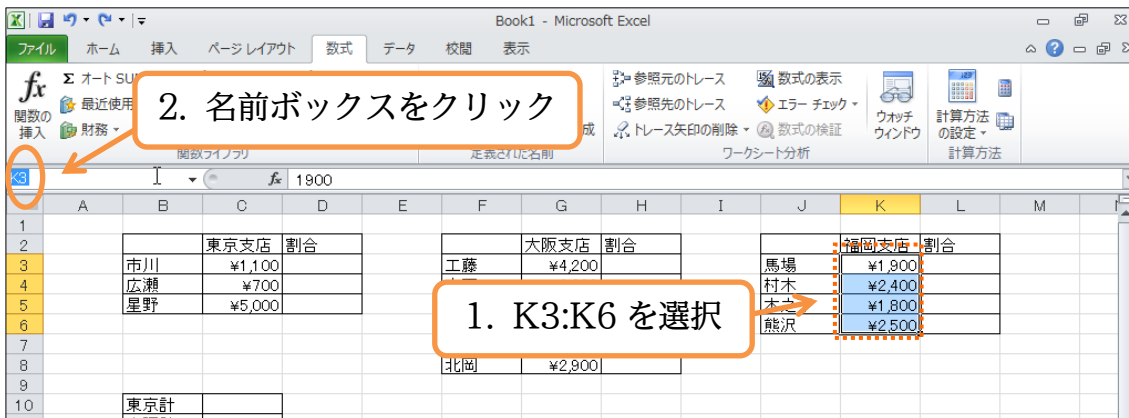


(5) 続けて G3:G8 に「大阪」という範囲名を付けて下さい。

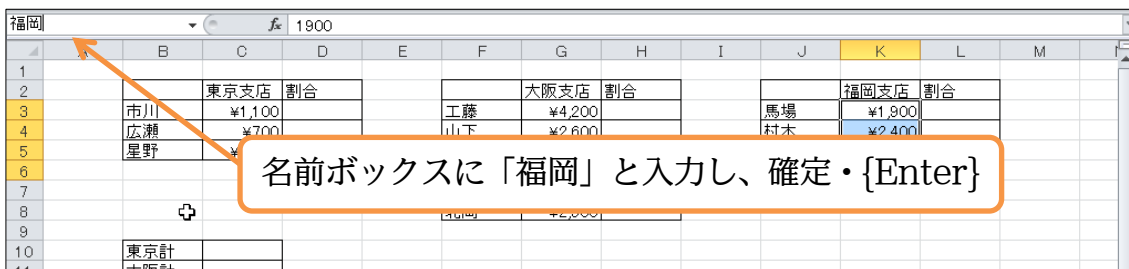


§ 2-2…[名前ボックス]を使って範囲名・名前の定義

(1) 今度は[名前の定義]ボタンを使わずに K3:K6 に範囲名「福岡」を設定します。選択してから名前ボックスをクリックして下さい。



(2) 名前ボックスに「福岡」と入力し、確定・[Enter]します。カーソルが名前ボックスから消え「福岡」が中央揃えになったら登録完了です。



(3) K3:K6 が範囲名「福岡」で登録されました。



- (4) 範囲名として登録されている場所は、名前ボックスから簡単に再選択ができます。範囲「大阪」を選択してみましょう。

	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	大阪										
2	東京										
3	福岡										
4	市川	¥1,100								¥1,800	
5	広瀬	¥700								¥2,400	
6	星野	¥5,000								¥1,800	
7										¥2,500	
8											

- (5) 範囲「大阪」が再選択されました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3			市川	¥1,100			工藤	¥4,200			馬場	¥1,900	
4			広瀬	¥700			山下	¥2,600			村木	¥2,400	
5			星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800	
6							高野	¥900			熊沢	¥2,500	
7							江沢	¥3,400					
8							北岡	¥2,900					
9													
10			東京計										

§ 2-3…範囲名を使った計算式の作成 1

- (1) セル C10 に「=SUM(C3:C5)」を作成します。しかし Excel では「=SUM(東京)」とすることもできるのです。「C3:C5=東京」で範囲を登録してあるからです。とりあえず【数式】タブの[オート SUM]ボタンで SUM 関数の作成を開始してみましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3			市川	¥1,100			工藤	¥4,200			馬場	¥1,900	
4			広瀬	¥700			山下	¥2,600			村木	¥2,400	
5			星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800	
6							高野	¥900			熊沢	¥2,500	
7							江沢	¥3,400					
8							北岡	¥2,900					
9													
10			東京計										
11			大阪計										
12			福岡計										
13													
14			総平均										
15			総合計										
16													

- (2) 自動的に仮の範囲が選択されますが、SUM 関数のカッコ内は{Delete}で消して下さい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3			市川	¥1,100			工藤	¥4,200			馬場	¥1,900	
4			広瀬	¥700			山下	¥2,600			村木	¥2,400	
5			星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800	
6							高野	¥900			熊沢	¥2,500	
7							江沢	¥3,400					
8							北岡	¥2,900					
9													
10			東京計										
11			大阪計										
12			福岡計										
13													
14			総平均										
15			総合計										
16													

- (3) SUM関数のカッコ内にカーソルがある状態で【数式】(定義された名前)[数式で使用]を使えば、登録されている範囲名の一覧が表示されます。ここで「東京」を選択しましょう。

SUM関数のカッコ内にカーソルがある状態で【数式】(定義された名前)[数式で使用]「東京」

カッコの中に「東京」と直接入力してもよい

- (4) 「=SUM(東京)」が完成しました。{Enter}で確定しましょう。

{Enter}で確定

- (5) 続けてセルC11に「=SUM(大阪)」、C12に「=SUM(福岡)」を作成して下さい。

C11に「=SUM(大阪)」、C12に「=SUM(福岡)」を作成

§ 2-4…範囲名を使った計算式の作成 2

- (1) 今度は[関数の引数]ボックスを使ってC14に「=AVERAGE(東京,大阪,福岡)」を作成します。複数の範囲を使う際は、範囲をカンマ「,」で区切ります。なお、「=AVERAGE(C3:C5,G3:G8,K3:K6)」と同じ意味になります。

2. [関数の挿入]から AVERAGE 関数を選択

1. C14 をアクティブに

(2) 引数[数値 1]にカーソルを合わせて、【数式】 [数式で使用] 「東京」 を選択します。

2. 【数式】 [数式で使用] 「東京」

1. [数値 1]にカーソルを合わせる(中にデータが入っていたら消しておく)

引数(ひきすう)を指定する際は必ずここにカーソルを合わせておくこと！！

(3) [数値 1]が「東京」になりました。なお「東京」は数値群「1100;700;5000」のことであると右側に表示されます。

関数の引数

AVERAGE

数値1 東京 = {1100;700;5000}

数値2 = 数値

= 2266.666667

引数の平均値を返します。引数には、数値、数値を含む名前、配列、セル参照を指定できます。

数値1: 数値1,数値2,... (には平均を求めたい数値を、1 から 255 個まで指定します。)

数式の結果 = 2266.666667

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

(4) 他の引数も指定します。[数値 2]を「大阪」、[数値 3]を「福岡」にします。設定後は OK します。

関数の引数

AVERAGE

数値1 東京 = {1100;700;5000}

数値2 大阪 = {4200;2600;1400;900;3400;2900}

数値3 福岡 = {1900;2400;1800;2500}

数値4 = 数値

= 2369.230769

引数の平均値を返します。引数には、数値、数値を含む名前、配列、セル参照を指定できます。

数値3: 数値1,数値2,... (には平均を求めたい数値を、1 から 255 個まで指定します。)

数式の結果 = 2369.230769

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

[数値 2]を「大阪」、[数値 3]を「福岡」に

(5) 「=AVERAGE(東京,大阪,福岡)」が作成されました。各引数は「,」で区切られています。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100			工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700			山下	¥2,600			村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800		
6						高野	¥900			熊沢	¥2,500		
7						江沢	¥3,400						
8						北岡	¥2,900						
9													
10		東京計	6800										
11		大阪計	15400										
12		福岡計	8600										
13													
14		総平均	2369.231										
15		総合計											
16													

(6) C5には「=SUM(東京,大阪,福岡)」を作成しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100			工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700			山下	¥2,600			村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800		
6						高野	¥900			熊沢	¥2,500		
7						江沢	¥3,400						
8						北岡	¥2,900						
9													
10		東京計	6800										
11		大阪計	15400										
12		福岡計	8600										
13													
14		総平均	2369.231										
15		総合計	30800										
16													

§ 2-5…範囲名の編集

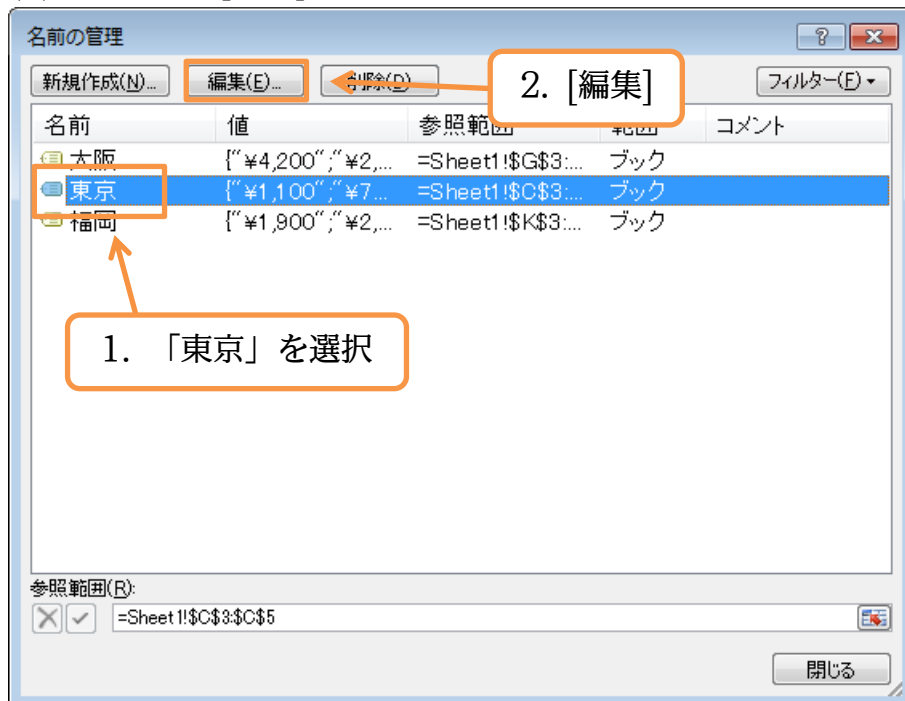
(1) 東京支店と福岡支店にデータを追加して下さい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100			工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700			山下	¥2,600			村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800		
6		山川	¥2,500			高野	¥900			熊沢	¥2,500		
7		輪島	¥1,100			江沢	¥3,400			本橋	¥1,900		
8						北岡	¥2,900						
9													
10		東京計	8600	山川	¥2,500								
11		大阪計	15400	輪島	¥1,100								
12		福岡計	8600										
13													
14		総平均	2369.231										
15		総合計	30800										
16													

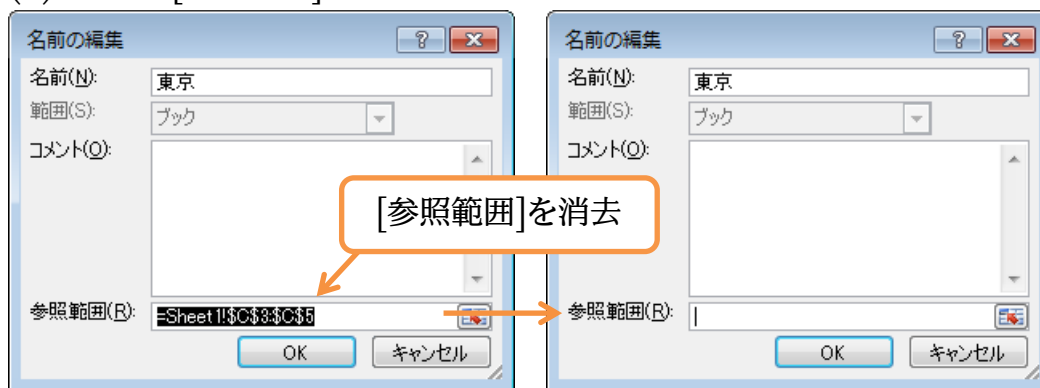
(2) これから範囲名「東京」と「福岡」の範囲を拡張します。【数式】[名前の管理]で範囲を変更します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100			工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700			山下	¥2,600			村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800		
6		山川	¥2,500			高野	¥900			熊沢	¥2,500		
7		輪島	¥1,100			江沢	¥3,400			本橋	¥1,900		
8						北岡	¥2,900						
9													
10		東京計	8600										
11		大阪計	15400										
12		福岡計	8600										
13													
14		総平均	2369.231										
15		総合計	30800										
16													

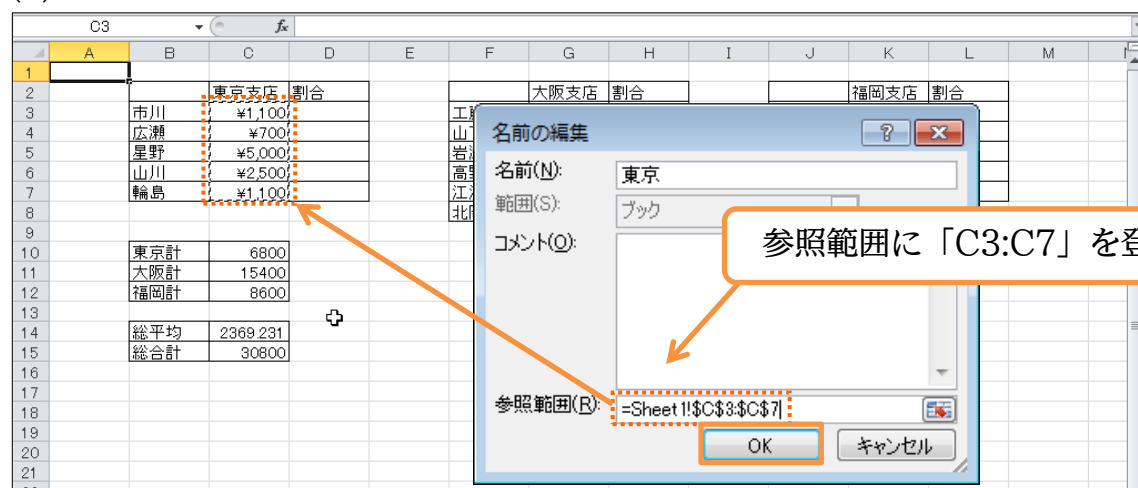
(3) 「東京」を[編集]します。



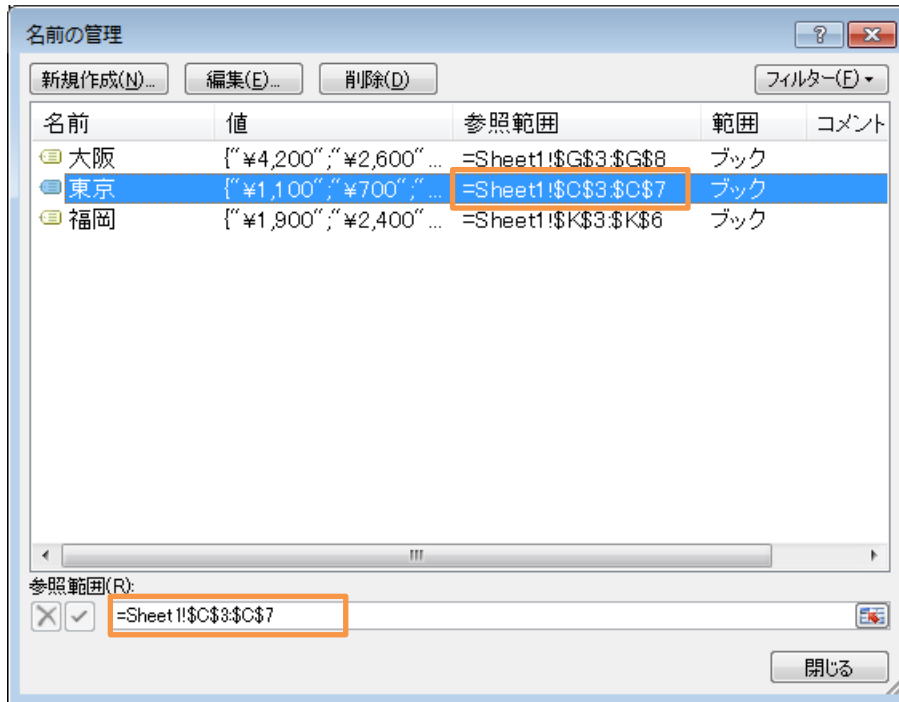
(4) 一旦、[参照範囲]を消去して下さい。



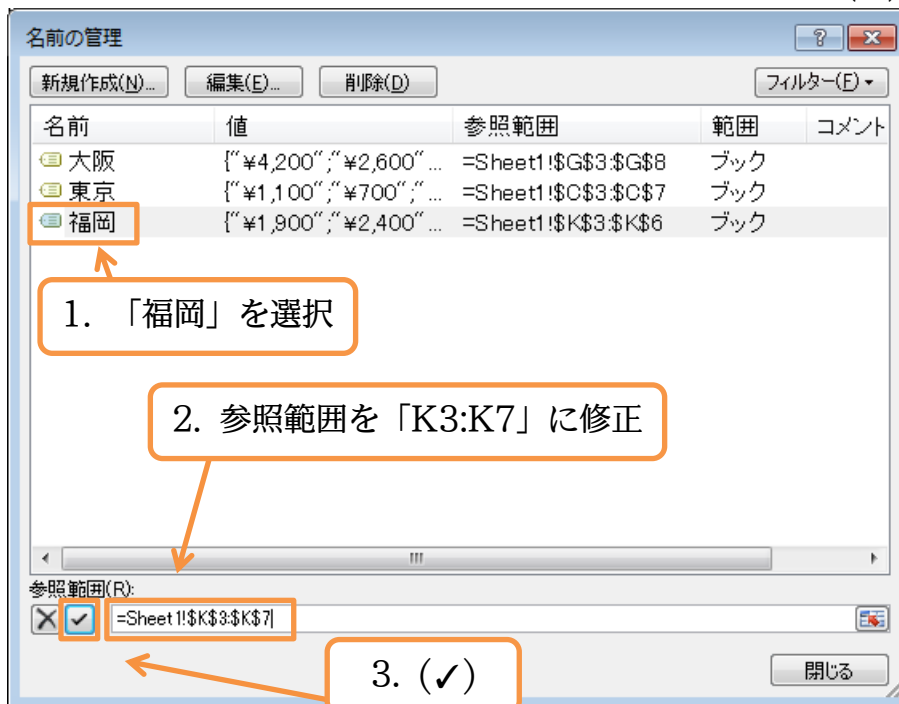
(5) 「C3:C7」を参照範囲に指定してOKします。



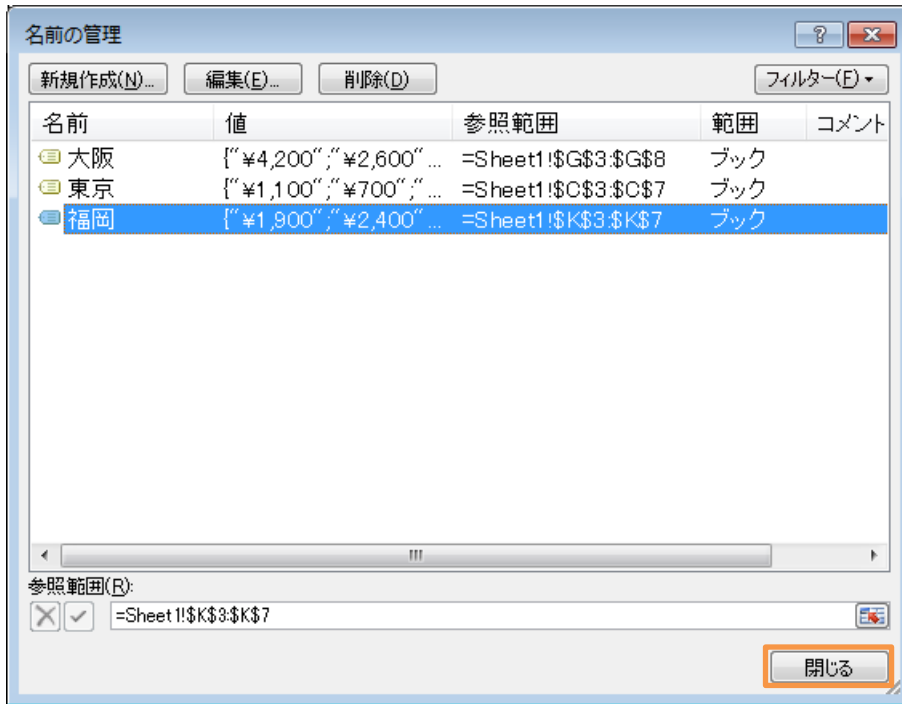
(6) 「東京」の範囲が「C3:C7」になりました。



(7) 今度は「福岡」の範囲を「K3:K7」に修正します。この画面からも参照範囲を修正できます。画面下のボックスで修正し、チェックボタン(✓)をクリックします。



(8) 修正が完了したらボックスを閉じます。



(9) 範囲名「東京,福岡」を使っていた計算セルが更新されます(「大阪計」のみ無関係)。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100			工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700			山下	¥2,600			村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000			岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800		
6		山川	¥2,500			高野	¥900			熊沢	¥2,500		
7		輪島	¥1,100			江沢	¥3,400			本橋	¥1,900		
8						北岡	¥2,900						
9													
10		東京計	10400										
11		大阪計	15400										
12		福岡計	10500										
13													
14		総平均	2268.75										
15		総合計	36300										
16													

§ 2-6…範囲名と絶対参照/選択範囲から作成

(1) セルD3に「市川」さんの「東京計」内における割合を算出します。「=C3/C10」を作成します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100	=C3/C10		高野	¥900			熊沢	¥2,500		
4		広瀬	¥700			江沢	¥3,400			本橋	¥1,900		
5		星野	¥5,000			北岡	¥2,900						
6		山川	¥2,500										
7		輪島	¥1,100										
8													
9													
10		東京計	10400										
11		大阪計	15400										
12		福岡計	10500										
13													
14		総平均	2268.75										
15		総合計	36300										
16													

- (2) 表示形式を「%・小数点1桁」にします。またコピーする際には常にC10と比較させる必要があるため、絶対参照の設定をします。

D3 の表示形式を「%・小数点1桁」に。
また、「=C3/\$C\$10」と絶対参照を設定。

「C\$10」でも可

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
2													
3		市川	¥1,100	10.6%		工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700			山下	¥2,600			村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000			岩瀬							
6		山川	¥2,500			高野							
7		輪島	¥1,100			江沢							
8						北岡							
9													
10		東京計	10400										
11		大阪計	15400										
12		福岡計	10500										
13													
14		総平均	2268.75										
15		総合計	36300										

- (3) D3の式をD7までコピーします。

D3の式をD7までコピー

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
2													
3		市川	¥1,100	10.6%		工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700	6.7%		山下	¥2,600			村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000	48.1%		岩瀬							
6		山川	¥2,500	24.0%		高野							
7		輪島	¥1,100	10.6%		江沢							
8						北岡							
9													
10		東京計	10400										
11		大阪計	15400										
12		福岡計	10500										
13													
14		総平均	2268.75										
15		総合計	36300										

- (4) ここで「C10→東京計」、「C11→大阪計」、「C12→福岡計」という範囲名を付けます。範囲名にはそれぞれの左のセルのデータ(B列)を利用します。B10:C12を選択して、【数式】[選択範囲から作成]を使います。

2. 【数式】[選択範囲から作成]

1. B10:C12を選択

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
2													
3		市川	¥1,100	10.6%		工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700	6.7%		山下	¥2,600			村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000	48.1%		岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800		
6		山川	¥2,500	24.0%		高野	¥900			熊沢	¥2,500		
7		輪島	¥1,100	10.6%		江沢	¥3,400			本橋	¥1,900		
8						北岡	¥2,900						
9													
10		東京計	10400										
11		大阪計	15400										
12		福岡計	10500										
13													
14		総平均	2268.75										
15		総合計	36300										

- (5) 左側の列(B列)を範囲の名前として利用させます。「左端列」にチェックがある状態でOKします。

選択範囲から名前を作成

以下に含まれる値から名前を作成:

上端行(T)

左端列(L)

最下行(B)

右端列(R)

OK キャンセル

§ 2-7…名前の引用

- (1) D3:D7 には、C 列を「C10」で割った式が入力されています。これらを「東京計」で割った式に一括で変更してみます。選択して、【数式】[名前の定義][名前の引用]を用います。

2. 【数式】 [名前の定義][名前の引用]

1. D3:D7 を選択

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100	10.6%		工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700	6.7%		山下	¥2,600			村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000	48.1%		岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800		
6		山川	¥2,500	24.0%		高野	¥900			熊沢	¥2,500		
7		輪島	¥1,100	10.6%		江沢	¥3,400			本橋	¥1,900		
8						北岡	¥2,900						
9													
10		東京計	10400										
11		大阪計	15400										
12		福岡計	10500										
13													
14		総平均	2268.75										
15		総合計	38300										

- (2) 「C10」を「東京計」に変更します。「東京計」だけを選択した状態にして OK します。

「東京計」だけを選択した状態に

名前引用

名前引用(N):

- 大阪
- 大阪計
- 東京
- 東京計
- 福岡
- 福岡計

絶対/相対参照を区別しない(D)

同じ行/列の名前を使用する(U) オプション(O) >>

OK キャンセル

- (3) D3:D7 の計算式内の「C10」が「東京計」に変わりました。

=C3/東京計

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100	10.6%		工藤	¥4,200			馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700	6.7%		山下	¥2,600			村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000	48.1%		岩瀬	¥1,400			木之下	¥1,800		
6		山川	¥2,500	24.0%		高野	¥900			熊沢	¥2,500		
7		輪島	¥1,100	10.6%		江沢	¥3,400			本橋	¥1,900		
8						北岡	¥2,900						
9													
10		東京計	10400										
11		大阪計	15400										
12		福岡計	10500										
13													
14		総平均	2268.75										
15		総合計	38300										

§ 2-8…範囲名と絶対参照の研究

- (1) セル H3 に「=G3/大阪計」の計算式を作成しましょう。また、表示形式は下図のように調整します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100	10.6%		工藤	¥4,200	27.3%		馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700	6.7%		山下	¥2,600						
5		星野	¥5,000	48.1%		岩瀬	¥1,400						
6		山川	¥2,500	24.0%		高野	¥900						
7		輪島	¥1,100	10.6%		江沢	¥3,400						
8						北岡	¥2,900						
9													
10		東京計	10400										
11		大阪計	15400										
12		福岡計	10500										
13													
14		総平均	2268.75										
15		総合計	36300										
16													

- (2) これを H8 までコピーしましょう。なお、式内に範囲名を使っている場合は、その箇所の絶対参照は不要です。必ずその範囲が参照されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100	10.6%		工藤	¥4,200	27.3%		馬場	¥1,900		
4		広瀬	¥700	6.7%		山下	¥2,600	16.9%		村木	¥2,400		
5		星野	¥5,000	48.1%		岩瀬	¥1,400	9.1%		木之下	¥1,800		
6		山川	¥2,500	24.0%		高野	¥900	5.8%		熊沢	¥2,500		
7		輪島	¥1,100	10.6%		江沢	¥3,400	22.1%		本橋	¥1,900		
8						北岡	¥2,900	18.8%					
9													
10		東京計	10400										
11		大阪計	15400										
12		福岡計	10500										
13													
14		総平均	2268.75										
15		総合計	36300										
16													

- (3) 同様に L 列にも福岡支店の割合を出して下さい。完成後はこのファイルを閉じます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2			東京支店	割合			大阪支店	割合			福岡支店	割合	
3		市川	¥1,100	10.6%		工藤	¥4,200	27.3%		馬場	¥1,900	18.1%	
4		広瀬	¥700	6.7%		山下	¥2,600	16.9%		村木	¥2,400	22.9%	
5		星野	¥5,000	48.1%		岩瀬	¥1,400	9.1%		木之下	¥1,800	17.1%	
6		山川	¥2,500	24.0%		高野	¥900	5.8%		熊沢	¥2,500	23.8%	
7		輪島	¥1,100	10.6%		江沢	¥3,400	22.1%		本橋	¥1,900	18.1%	
8						北岡	¥2,900	18.8%					
9													
10		東京計	10400										
11		大阪計	15400										
12		福岡計	10500										
13													
14		総平均	2268.75										
15		総合計	36300										

§ 2-9…練習問題

(1) D3:D6 には「東京」、D7:D8 には「千葉」、D9:D11 には「神奈川」という名前を付けて計算表を作成します。完成後は右のように「町田」「船橋」「藤沢」を追加・修正します。

	A	B	C	D	E
1					
2		東京エリア	店舗	会員数	
3			品川	41	
4			新橋	22	
5			目白	7	
6			三田	35	
7		千葉エリア	成田	15	
8			幕張	30	
9		神奈川エリア	大船	22	
10			小田原	55	
11			川崎	50	
12					
13			店舗数	会員数	
14		東京	4	105	
15		千葉	2	45	
16		神奈川	3	127	
17					

	A	B	C	D	E
1					
2		東京エリア	店舗	会員数	
3			品川	41	
4			新橋	22	
5			町田	18	
6			目白	7	
7		三田	35		
8		千葉エリア	成田	15	
9			船橋	48	
10			幕張	30	
11		神奈川エリア	大船	22	
12			小田原	55	
13			川崎	50	
14			藤沢	27	
15					
16			店舗数	会員数	
17		東京	5	123	
18		千葉	3	93	
19		神奈川	4	154	
20					

(2) 絶対参照を使わず、範囲名を有効活用することで下記の計算表を完成させましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		No.	名前	得点	平均点との差	最高点との差	最低点との差	
3		1	和泉	69	16	-28	55	
4		2	遠藤	97	44	0	83	
5		3	加藤	51	-2	-46	37	
6		4	坂	14	-39	-83	0	
7		5	庄司	61	8	-36	47	
8		6	千葉	41	-12	-56	27	
9		7	土屋	38	-15	-59	24	
10								
11			平均点	53				
12			最高点	97				
13			最低点	14				
14								

第3章:切り捨て・切り上げ・四捨五入

§3-1…準備

次のような計算表を作成しましょう。C列の値はB列の値の2.5%(0.025倍したものです)。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理-1	処理十の位A	処理十の位B	
3		15496	387.400						
4		612	15.300						
5		7850	196.250						
6		13635	340.875						
7		940	23.500						
8		3465	86.625						
9		19467	486.675						
10									

§3-2…ROUNDDOWN 関数とは(概要・らうんど だうん)

ROUNDDOWN 関数は、選択したセル・数値を切り捨て処理する関数です。引数には「数値」「桁数」の2つ必要です。

ROUNDDOWN 関数の書式

=ROUNDDOWN(数値,桁数)

…[数値]を指定した[桁数]で切り捨てる。

<引数解説>

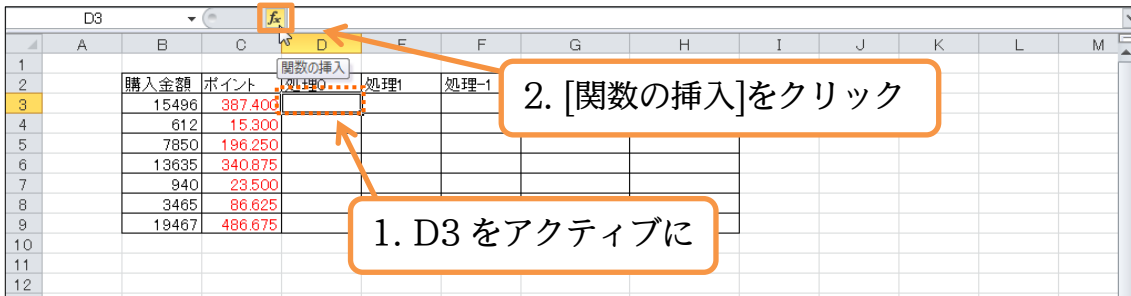
数値:切り捨て処理をしたいセル・数値を指定する欄

桁数:小数点以下をすべて処理する場合には「0」を指定。小数点以下の一部を処理する場合には、何桁目の次を処理するのかを数値で指定。整数部(十の位、千の位など)以下を処理する場合には、一の位なら「-1」、十の位なら「-2」、百の位なら「-3」のように指定。

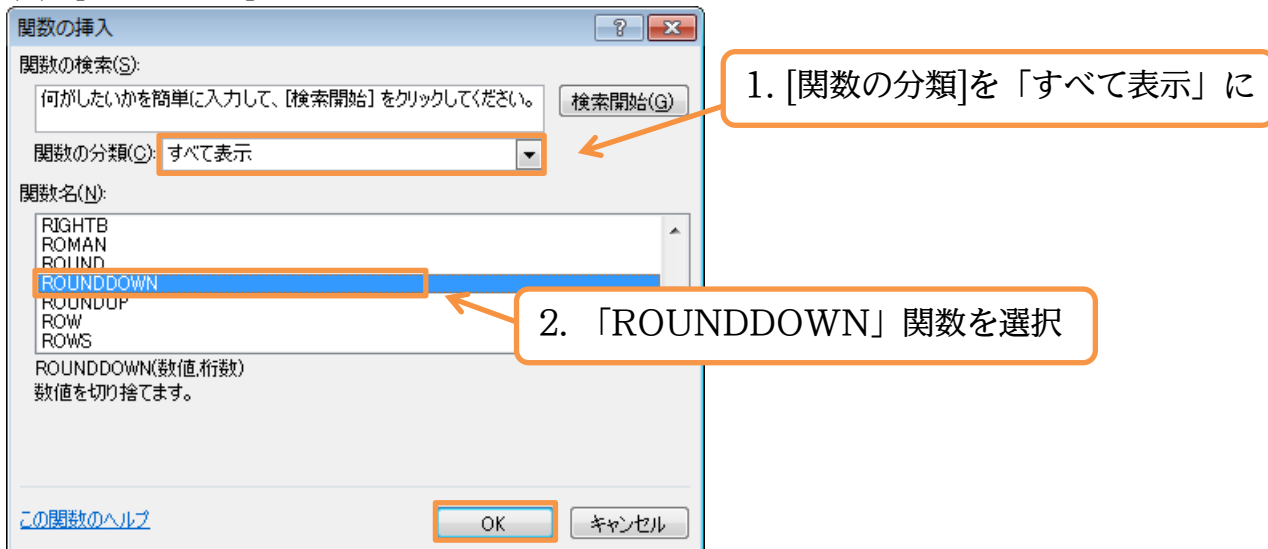
	A	B	C	D	E
1					
2		1234.567			
3					
4		桁数	処理後	C列に入力されている式	例
5		0	1234	=ROUNDDOWN(B2,B5)	
6		-1	1230	=ROUNDDOWN(B2,B6)	
7		-2	1200	=ROUNDDOWN(B2,B7)	
8		-3	1000	=ROUNDDOWN(B2,B8)	
9		1	1234.500	=ROUNDDOWN(B2,B9)	
10		2	1234.560	=ROUNDDOWN(B2,B10)	
11					

§ 3-3…ROUNDDOWN の操作

- (1) D 列には C 列の値を整数化させた値を表示させます。小数点以下の端数は切り捨てます。使用するのは ROUNDDOWN 関数です。D3 をアクティブにして[関数の挿入]をクリックして下さい。



- (2) [関数の分類]を「すべて表示」にしてから「ROUNDDOWN」関数を選択して下さい。



- (3) [数値]には「C3」を用います。端数処理したい数値が入力されているセルを指定するのです。[桁数]には「0」を入力して OK します。小数点以下を処理して、整数化する際には、[桁数]「0」を採用するのです。



- (4) D3の結果をD9までコピーしましょう。それぞれの値が小数点以下で切り捨て処理されたことがわかります。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理-1	処理十の位A	処理十の位B					
3		15496	387.400	387.000									
4		612	15.300	15.000									
5		7850	196.250	196.000									
6		13635	340.875	340.000									
7		940	23.500	23.000									
8		3465	86.625	86.000									
9		19467	486.675	486.000									

§3-4…桁数にプラスの値(正の数)を指定する

- (1) E列(処理1)にも、各ポイントを切り捨て処理をした結果を表示させます。ただし小数点1桁目は残し、2桁目を処理するのです。ROUNDDOWN関数を使用するということは同じです。E3をアクティブにしてからROUNDDOWN関数の作成を開始して下さい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		購入金額	ポイント	関数の挿入	処理0	処理-1	処理十の位A	処理十の位B					
3		15496	387.400	387.000									
4		612	15.300	15.000									
5		7850	196.250	196.000									
6		13635	340.875	340.000									
7		940	23.500	23.000									

- (2) [数値]には、先ほどと同様「C3」を採用します。[桁数]には、小数点何桁まで残し、それより後を処理するか、を指定します。小数点1桁まで残すので「1」と指定してOKして下さい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理-1	処理十の位A	処理十の位B					
3		15496	387.400	387.000	387.400								
4		612	15.300	15.000	15.300								
5		7850	196.250	196.000	196.250								
6		13635	340.875	340.000	340.800								
7		940	23.500	23.000	23.500								
8		3465	86.625	86.000	86.600								
9		19467	486.675	486.000	486.600								

- (3) E3に作成された式をE9までコピーしましょう。小数点2桁以下が処理され、小数点1桁目までが残ります。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理-1	処理十の位A	処理十の位B					
3		15496	387.400	387.000	387.400								
4		612	15.300	15.000	15.300								
5		7850	196.250	196.000	196.250								
6		13635	340.875	340.000	340.800								
7		940	23.500	23.000	23.500								
8		3465	86.625	86.000	86.600								
9		19467	486.675	486.000	486.600								

§ 3-5…桁数にマイナスの値(負の数)を指定する

- (1) 今度は F 列に、一の位以下を切り捨てた結果を表示させます。十円単位にするのです。ROUNDDOWN 関数を使います。F3 をアクティブにしてから ROUNDDOWN 関数の作成を開始して下さい。

2. [関数の挿入]より ROUNDDOWN 関数を選択

1. F3 をアクティブに

- (2) さて、[数値]は「C3」です。続けて[桁数]です。一の位以下を処理し、十の位を残す場合には「-1」を指定します。設定後は OK して下さい。なお、十の位以下を処理する際には「-2」、百の位以下を処理するなら「-3」になります。

[数値]は「C3」、[桁数]は「-1」に

数値を切り捨てます。
数値 には切り捨ての対象となる実数値を指定します。

数式の結果 = 380

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

- (3) 完成後はコピーしましょう。

F3 =ROUNDDOWN(C3,-1)

§ 3-6…その他の桁数

- (1) G 列では B 列(購入金額)の、十の位以下を処理した値を表示させます。[桁数]は「-2」になります。マイナスで指定した分だけ、「0」が作成されます。G3 をアクティブにし、ROUNDDOWN 関数の作成を開始します。

1. G3 をアクティブに

2. [関数の挿入]より ROUNDDOWN 関数を選択

- (2) [数値]を「B3」、[桁数]を「-2」にします。このように、[桁数]は小数点を基準にして、どの程度離れた部分以下を処理するか、を指定する欄なのです

関数の引数

ROUNDOWN

数値 B3 = 15496

桁数 -2 = -2

= 15400

数値を切り捨てます。

桁数 (には数値を切り捨てた結果の桁数を指定します。桁数に負の数を指定すると、数値は小数点の左(整数部分)の指定した桁(1の位を0とする)に切り捨てられ、0を指定するかまたは省略されると、最も近い整数に切り捨てられます。)

数式の結果 = 15400

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

- (3) 作成した式をコピーしましょう。小数点から見て、左側2桁目以下を対象に、端数処理がなされました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理-1	処理十の位A	処理十の位B					
3		15496	387.400	387.000	387.400	380.000	15400						
4		612	15.300	15.000	15.300	10.000	600						
5		7850	196.250	196.000	196.200	190.000	7800						
6		13635	340.875	340.000	340.800	340.000	13600						
7		940	23.500	23.000	23.500	20.000	900						
8		3465	86.625	86.000	86.600	80.000	3400						
9		19467	486.675	486.000	486.600	480.000	19400						

§ 3-7...その他の処理方法

- (1) 四捨五入時には「ROUND」、切り上げ時には「ROUNDUP」関数が使用できます。H列に、四捨五入によりB列の値を端数処理させた結果を表示させます。処理させる桁数は十の位以下・すなわち「-2」です。H3で[関数の挿入]を使って下さい。

関数の挿入

ROUND

数値 B3 = 15496

桁数 -2 = -2

= 15400

数値を切り捨てます。

桁数 (には数値を切り捨てた結果の桁数を指定します。桁数に負の数を指定すると、数値は小数点の左(整数部分)の指定した桁(1の位を0とする)に切り捨てられ、0を指定するかまたは省略されると、最も近い整数に切り捨てられます。)

数式の結果 = 15400

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

1. H3 をアクティブに

2. [関数の挿入]をクリック

(2) 「すべて表示」から「ROUND」を選択して下さい。

関数の挿入

関数の検索(S):
何がしたいかを簡単に入力して、[検索開始]をクリックしてください。 検索開始(G)

関数の分類(C): **すべて表示**

関数名(N):
RIGHT
RIGHTB
ROMAN
ROUND
ROUNDDOWN
ROUNDUP
ROW

ROUND(数値,桁数)
数値を指定した桁数に四捨五入した値を返します。

この関数のヘルプ

OK キャンセル

1. [関数の分類]は「すべて表示」

2. 「ROUND」を選択

(3) [数値]は「B3」(購入金額・15496)、[桁数]は「-2」にしてOKしましょう。

ROUND

数値 B3 = 15496

桁数 -2 = -2

= 15500

数値を指定した桁数に四捨五入した値を返します。

桁数 (には四捨五入する桁数を指定します。桁数に負の数を指定すると、小数点の左側(整数部分)の指定した桁(1の位を0とする)に、0を指定すると、最も近い整数として四捨五入されます。)

数式の結果 = 15500

この関数のヘルプ(H)

OK キャンセル

[数値]を「B3」、[桁数]を「-2」に

(4) 作成した式をコピーしましょう。G列(処理十の位 A)では、十の位以下を「切り捨て」でしたが、今度は四捨五入になっています。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理-1	処理十の位A	処理十の位B					
3		15496	387.400	387.000	387.400	380.000	15400	15500					
4		612	15.300	15.000	15.300	10.000	600	600					
5		7850	196.250	196.000	196.200	190.000	7800	7900					
6		13635	340.875	340.000	340.800	340.000	13600	13600					
7		940	23.500	23.000	23.500	20.000	900	900					
8		3465	86.625	86.000	86.600	80.000	3400	3500					
9		19467	486.675	486.000	486.600	480.000	19400	19500					

(5) ROUNDUP 関数でも試みましょう。H3のROUND関数をROUNDUP関数に修正して下さい。数式バーで「up」を追加すれば良いのです。小文字でもかまいません。

2. 「ROUND」を「ROUNDUP」に修正

1. H3をアクティブに

(6) 確定してコピーしなおし、切り上げがなされたことを確認して下さい。完成後はこのファイルを閉じます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		購入金額	ポイント	処理0	処理1	処理-1	処理十の位A	処理十の位B					
3		15496	387.400	387.000	387.400	380.000	15400	15500					
4		612	15.300	15.000	15.300	10.000	600	700					
5		7850	196.250	196.000	196.200	190.000	7800	7900					
6		13635	340.875	340.000	340.800	340.000	13600	13700					
7		940	23.500	23.000	23.500	20.000	900	1000					
8		3465	86.625	86.000	86.600	80.000	3400	3500					
9		19467	486.675	486.000	486.600	480.000	19400	19500					
10													
11													

§ 3-8…ROUNDUP 関数と ROUND 関数(資料)

ROUNDUP 関数は、選択したセル・数値を切り上げ処理する関数です。ROUND 関数は、選択したセル・数値を四捨五入処理する関数です。

ROUNDUP 関数の書式

=ROUNDUP(数値,桁数)

…[数値]を指定した[桁数]で切り上げる。

<引数解説>

数値:切り上げ処理をしたいセル・数値を指定する欄

桁数:小数点以下をすべて処理する場合には「0」を指定。小数点以下の一部を処理する場合には、何桁目の次を処理するのかを数値で指定。整数部(十の位、千の位など)以下を処理する場合には、一の位なら「-1」、十の位なら「-2」、百の位なら「-3」のように指定。

	A	B	C	D	E
1					
2		1234.567			
3					
4		桁数	処理後	C 列に入力されている式	例
5		0	1235	=ROUNDUP(B2,B5)	
6		-1	1240	=ROUNDUP(B2,B6)	
7		-2	1300	=ROUNDUP(B2,B7)	
8		-3	2000	=ROUNDUP(B2,B8)	
9		1	1234.600	=ROUNDUP(B2,B9)	
10		2	1234.570	=ROUNDUP(B2,B10)	
11					

ROUND 関数の書式

=ROUND(数値,桁数)

…[数値]を指定した[桁数]で四捨五入する。

<引数解説>

数値:四捨五入処理をしたいセル・数値を指定する欄

桁数:小数点以下をすべて処理する場合には「0」を指定。小数点以下の一部を処理する場合には、何桁目の次を処理するのかを数値で指定。整数部(十の位、千の位など)以下を処理する場合には、一の位なら「-1」、十の位なら「-2」、百の位なら「-3」のように指定。

	A	B	C	D	E
1					
2		1234.567			
3					
4		桁数	処理後	C列に入力されている式	例
5		0	1235	=ROUND(B2,B5)	
6		-1	1230	=ROUND(B2,B6)	
7		-2	1200	=ROUND(B2,B7)	
8		-3	1000	=ROUND(B2,B8)	
9		1	1234.600	=ROUND(B2,B9)	
10		2	1234.570	=ROUND(B2,B10)	
11					

§ 3-9…練習問題

- (1) 次の計算表を作成しましょう。ポイントは7%です。処理後は整数になるように端数を四捨五入します。

	A	B	C	D	E	F
1						
2			単価	ポイント	処理後	
3		商品1	146	10.22	10.00	
4		商品2	228	15.96	16.00	
5		商品3	326	22.82	23.00	
6						

- (2) D列に消費税額を算出させます。消費税は5%で計算し、端数は切り捨てします。引数[数値]欄に「単価*0.05」と数式を入力するのがコツです。

	A	B	C	D	E
1					
2		商品名	単価	税額	
3		あじ	148	7.0	
4		さんま	103	5.0	
5		あさり	96	4.0	
6					

関数の基本パターンは『=命令(対象)』です。
ここでは『=ROUND(単価*0.05,0)』
となります。

(3) 年齢から年代を割り出しましょう。

	A	B	C	D	E	F																																
1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>名前</th> <th>年齢</th> <th>年代</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>和泉</td> <td>67</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>遠藤</td> <td>24</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>加藤</td> <td>61</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>坂</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>庄司</td> <td>36</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>千葉</td> <td>28</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>土屋</td> <td>43</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>						No.	名前	年齢	年代	1	和泉	67	60	2	遠藤	24	20	3	加藤	61	60	4	坂	50	50	5	庄司	36	30	6	千葉	28	20	7	土屋	43	40
No.							名前	年齢	年代																													
1							和泉	67	60																													
2							遠藤	24	20																													
3							加藤	61	60																													
4							坂	50	50																													
5							庄司	36	30																													
6							千葉	28	20																													
7							土屋	43	40																													
2																																						
3																																						
4																																						
5																																						
6																																						
7																																						
8																																						
9																																						
10																																						

(4) 割引額も、消費税(5%)も、端数の切り捨てをしています。

	A	B	C	D	E	F																																								
1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>購入商品</th> <th>単価</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>チーズケーキ</td> <td>¥255</td> <td>7</td> <td>¥1,785</td> </tr> <tr> <td>アップルパイ</td> <td>¥350</td> <td>3</td> <td>¥1,050</td> </tr> <tr> <td>モンブラン</td> <td>¥275</td> <td>3</td> <td>¥825</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>¥3,660</td> </tr> <tr> <td colspan="3">割引率</td> <td>3.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="3">割引額</td> <td>¥109</td> </tr> <tr> <td colspan="3">小計</td> <td>¥3,551</td> </tr> <tr> <td colspan="3">消費税</td> <td>¥177</td> </tr> <tr> <td colspan="3">総計</td> <td>¥3,728</td> </tr> </tbody> </table>						購入商品	単価	数量	金額	チーズケーキ	¥255	7	¥1,785	アップルパイ	¥350	3	¥1,050	モンブラン	¥275	3	¥825	合計			¥3,660	割引率			3.0%	割引額			¥109	小計			¥3,551	消費税			¥177	総計			¥3,728
購入商品							単価	数量	金額																																					
チーズケーキ							¥255	7	¥1,785																																					
アップルパイ							¥350	3	¥1,050																																					
モンブラン							¥275	3	¥825																																					
合計							¥3,660																																							
割引率							3.0%																																							
割引額							¥109																																							
小計							¥3,551																																							
消費税							¥177																																							
総計							¥3,728																																							
2																																														
3																																														
4																																														
5																																														
6																																														
7																																														
8																																														
9																																														
10																																														
11																																														
12																																														
13																																														

(5) 「利益上乗せ後」は「卸値」の15%増しです。ただし、十の位以下を切り上げています。「販売額」は「利益上乗せ後」を20円引きした結果です(これで「¥〇,〇80」という金額が作成できます)。

	A	B	C	D	E	F																												
1	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>卸値</th> <th>利益上乗せ後</th> <th>販売額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商品1</td> <td>¥8,457</td> <td>¥9,800</td> <td>¥9,780</td> </tr> <tr> <td>商品2</td> <td>¥2,133</td> <td>¥2,500</td> <td>¥2,480</td> </tr> <tr> <td>商品3</td> <td>¥4,799</td> <td>¥5,600</td> <td>¥5,580</td> </tr> <tr> <td>商品4</td> <td>¥3,815</td> <td>¥4,400</td> <td>¥4,380</td> </tr> <tr> <td>商品5</td> <td>¥6,924</td> <td>¥8,000</td> <td>¥7,980</td> </tr> <tr> <td>商品6</td> <td>¥5,531</td> <td>¥6,400</td> <td>¥6,380</td> </tr> </tbody> </table>							卸値	利益上乗せ後	販売額	商品1	¥8,457	¥9,800	¥9,780	商品2	¥2,133	¥2,500	¥2,480	商品3	¥4,799	¥5,600	¥5,580	商品4	¥3,815	¥4,400	¥4,380	商品5	¥6,924	¥8,000	¥7,980	商品6	¥5,531	¥6,400	¥6,380
							卸値	利益上乗せ後	販売額																									
商品1							¥8,457	¥9,800	¥9,780																									
商品2							¥2,133	¥2,500	¥2,480																									
商品3							¥4,799	¥5,600	¥5,580																									
商品4							¥3,815	¥4,400	¥4,380																									
商品5							¥6,924	¥8,000	¥7,980																									
商品6							¥5,531	¥6,400	¥6,380																									
2																																		
3																																		
4																																		
5																																		
6																																		
7																																		
8																																		
9																																		

(6) 販売価格は卸値の17%増しです。ただし百の位以下を切り捨てし、さらにそこから200円引いています。たとえばD3においては、ROUNDDOWN関数で「66000」を作成してから、後で200円引く式を追加しています。

	A	B	C	D	E
1					
2			卸値	販売価格	
3		商品1	¥57,255	¥65,800	
4		商品2	¥84,620	¥98,800	
5		商品3	¥36,870	¥42,800	
6		商品4	¥62,385	¥71,800	
7		商品5	¥49,220	¥56,800	
8		商品6	¥71,950	¥83,800	
9		商品7	¥68,215	¥78,800	
10					